

### 第3回桑名市国際化推進検討委員会 会議概要

日時・場所	平成30年2月16日(金) 14:00~16:00 桑名市役所本庁舎 3階第二会議室
出席者	委員:5名(うち1名早退) 市:6名 事務局:4名 傍聴:1名
会議次第	1. 開会 2. 市長挨拶 3. 事項 (1) 桑名市の小学校外国語活動 (2) 教育旅行の受け入れについて (3) 多文化共生事業について (4) ポストジュニアサミット事業について (5) 国際観光まちづくり推進事業 4. その他 5. 閉会
概要 (主な意見)	3. 事項 資料1~5の説明を受けて ・学校以外で英語を習っている子が非常に多く、小学校での授業だけしか英語に接していない子との格差が大きくなるのではないかと危険性を感じる。 ・日本人は英語を話す時、完璧な英語でないとダメかなと考えてしまつてためらってしまう。英語ってこんな感じでいいんだという経験をするだけで、子どもたちは英語に対する敷居というか、恐怖感みたいなものが抜ける気がする。 →特に小学生であれば、外へ連れ出して行って、いろいろなものを見ながら会話させるというようなことをした方が気楽な雰囲気やったほうがいいかもしれない。 ・英語に限らず言語を学ぶときは、動作と言葉を結びつけるということがすごく大切で、体験を交えながらやっていくことが大切。 →日本語を教えるときも、なるべく動作と体験、言葉と動作を結びつけて教えると、その方がすぐに使えるという感じはする。 ・小学校英語教育については、教え方が一番難しいと思うので、担任の先生方にも支援が必要。

- あくまでも言葉は道具なので、慣れさせたほうがいい。  
→英語は難しくない、英語は学ぶのではない、英語は慣れ親しんで、いつの間にか言葉が出てくるというのが、一番いいと思う。入り口を間違えてしまうと、英語嫌いになっちゃう。
- ‘英語を学ぶ’ というフレーズがついてしまいがちだが、そうではなくて、子どもたちには、‘英語を使えるということでは何かができるのか’ を見せた方がいい。  
→例えば、スポーツ選手が海外に出て行って英語でコミュニケーションをとっているというような、世界で活躍するカッコいい人達の姿を見せることで、自分も英語が使えたら、こんなに世界が広がるんだとモチベーションを上げてもらう。そうすることで、英語が目的ではなく道具になり、目的が自分のやりたいこととなることで、目的達成のために英語を自然と身に付けようとする。
- 言語は本物に触れさせて、徹底的にシャワーのように浴びたほうが、実は慣れやすいかもしれない。子どもだからといって簡単な単語だけを覚えさせられるだけでは面白味がないので、むしろ、シャワーのように浴びながら慣れていくというのがいいような気がする。
- グローバル化という時に、一番グローバル化ができないのは親のほうではないかというのが課題になるので、ホームステイというのは子どもだけでなく、親御さんも経験を積むことができるという面では非常にいい取り組みだと思う。
- ホームステイの受入れをやってみたいと思う気持ちはあるが、ちょっと踏み出せないという気もしたりするので、ネットワークみたいなものがあればいいと思う。  
→例えば、ママ友同士の会話で「ホームステイこんな感じだったよ」という情報共有ができれば、安心感がうまれ、自分もやってみようと思えるのではないかな。受け皿の基盤づくりが大切だと感じる。
- 桑名市に住んでいる外国人に対しての発信の仕方を考えないといけない。また、日本の人で国際交流に興味がある人については、いかにターゲットを絞って情報発信するにはどうしたらいいのかということも考えないといけないと思う。
- 桑名は宣伝が下手だと感じる。そこらへんを効率よくして、インバウンドでより多くの人に外国の人に来てもらう工作が必要かな

	<p>と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MICE を誘致する際に、例えば高校生ボランティアのような集団をつくっておいて、高校生たちが自分たちで案内できるような外国語のパンフレットなどを作って、毎回毎対応できるようにしておくというのもいいかもしれない。</li> <li>• ジュニア・サミットが本当にいいきっかけだったと思うので、今後もこういった取組みを継続していくことが一番大事なんじゃないかと思う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ジュニア・サミットはいいが、もうちょっと先になって『ジュニア・サミットって何？国際交流を総じてジュニア・サミットっていうのかな？』と考える人もいると思うので、マイナーチェンジ、その時々に合わせて言葉を変えることが常に必要。</li> </ul> </li> <li>• YouTube で発信してみるのもいいかもしれない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→例えば、高校生たちから桑名を紹介して来訪を促すような YouTube の発信を高校生たちに競わせてみるというのもありかもしれない。</li> </ul> </li> <li>• 産業観光では、民を活用しながら市全体を盛り上げていく過程で、いろいろなパーツを組み合わせながら、融合しながら全体的にあがっていくことで相乗効果が生まれている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→今後、国際観光まちづくり推進事業が、行政と民間がうまく役割分担しながら、全体的にあがっていくいいモデルとなるのではないか。</li> </ul> </li> <li>• 教育旅行の受入れをするだけでなく、こちら側から行くということも必要になってくるのではないか。こちらが相手国に行くことで、今後、誘致をする際に有利になるのでは・・・と考える。</li> <li>• 海外から観光客等を誘致する際のコンテンツを商品化するには、常時英語での対応ができるかというところも必要になってくるので、うまくボランティアのガイドさんなどを活用できたらいいと思う。</li> <li>• 各課は縦割りではなくて横につながって、複合的に上がっていくという桑名市をつくっていただきたい。</li> </ul>
担当課	市長公室 ブランド推進課